

感 染 症 週 報

島しょ保健所八丈出張所管内感染症発生動向調査

管内 第18.19週

(4月28日 ~ 5月11日)

東京都感染症週報 より抜粋

第19週

(5月5日 ~ 5月11日)

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/weekly/>

東京都インフルエンザ情報

第31号

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/flu/2024/Vol27No31.pdf>



東京都島しょ保健所八丈出張所

〒100-1511

東京都八丈島八丈町三根1950番地2

TEL : 04996 - 2 - 1291

FAX : 04996 - 2 - 0632

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/tousyo/hachijou/index.html>

感 染 症 週 報

八丈出張所管内の感染症流行情報

(八丈町・青ヶ島村)

第18週(4/28～5/4)八丈出張所管内では、突発性発しん1件発生報告がありました。
第19週(5/5～5/11)八丈出張所管内では、川崎病1件、青ヶ島では溶血性レンサ球菌が1件ありました。

麻しん(はしか)の発生について報道発表がありました

都内で麻しん患者(検査診断例)の発生がありました。保健所において疫学調査を実施し、接触者の健康観察を実施しています。

ひとくち感染症情報「麻しん(はしか)」

1 麻しんとは

麻しんは、麻しんウイルスによる感染症であり、感染症法上の五類感染症です。

2015年には世界保健機関西太平洋事務局(WPRO)より日本は麻疹排除状態であると認定され、近年の麻しんの発生は輸入症例を端とするものとなります。世界でも、麻しんの排除(elimination)に向けて、予防接種率の向上等の麻しん対策が強化されていますが、途上国では、いまだに5歳以下の子どもが主な死亡原因となっています。

2 原因と感染経路

病原体は、麻しんウイルス(measles virus)です。空気感染が主たる感染経路ですが、その他に、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛まつ感染」、およびウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」もあります。発症した人が周囲に感染させる期間は、症状が出現する1日前から発しん消失後4日くらいまでとされています。なお、感染力が最も強いのは発しん出現前の期間です。

3 症状

感染力はきわめて強く、麻しんに対する免疫を持っていない人が、感染している人に接すると、ほぼ100%の人が感染します。感染しても発症しない不顕性感染はなく、全て発症します。典型的には、約10～12日間の潜伏期間の後、38℃程度の発熱及びかぜ症状が2～4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発しんが出現します。主な症状は、発熱・発しんの他、咳、鼻水、目の充血などです。また、合併症として、肺炎、中耳炎、稀に、脳炎、失明等があり、肺炎や脳炎は、重症化すると死亡することもあります。一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

4 治療

特別な治療法は無く対症療法が行われます。感染初期であれば、緊急ワクチン・免疫グロブリンの投与により発症を防止できる可能性もあります。

5 予防のポイント

有効な予防法は、麻しん含有ワクチン接種です。

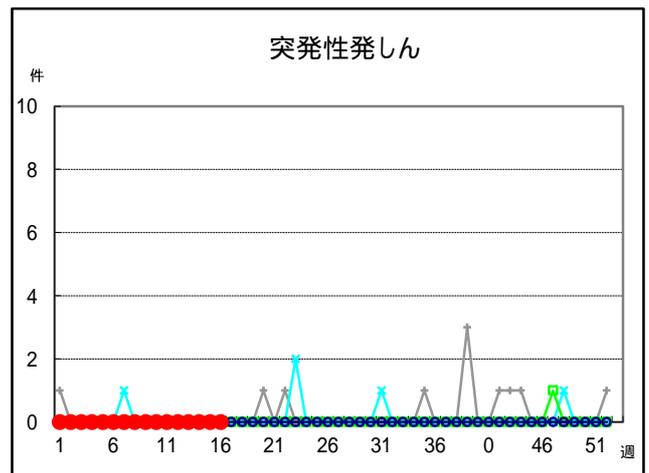
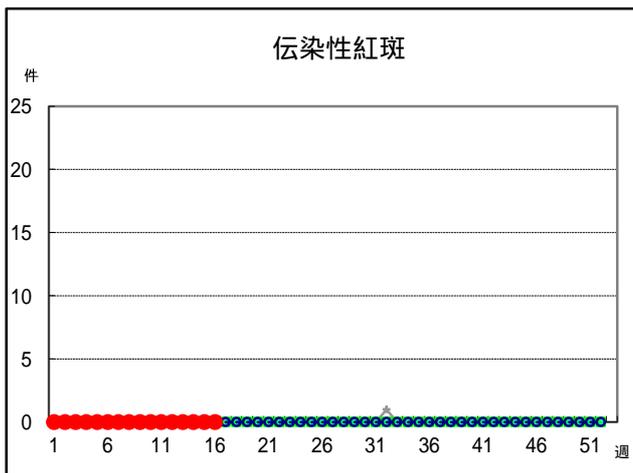
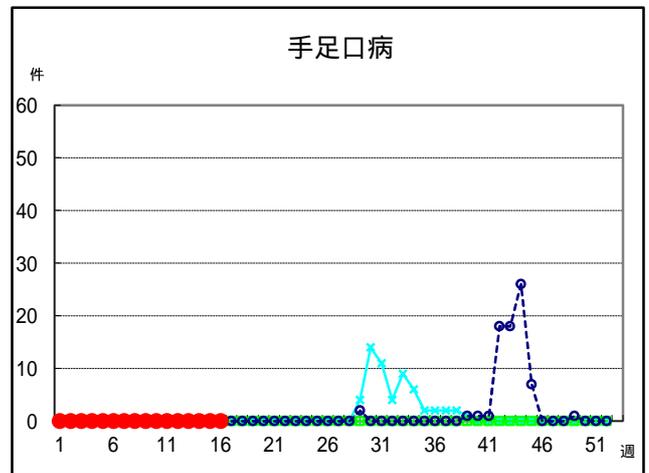
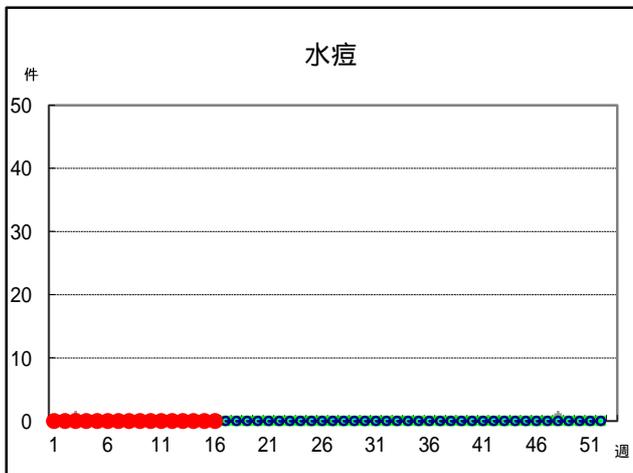
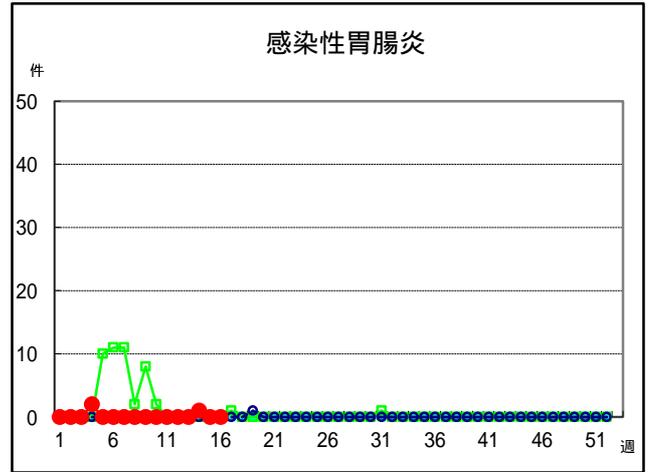
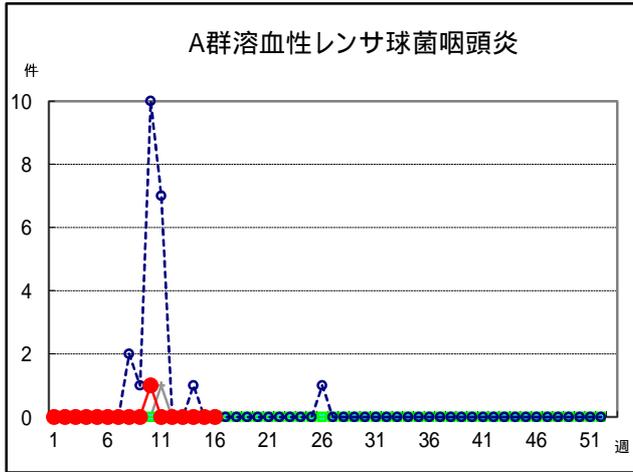
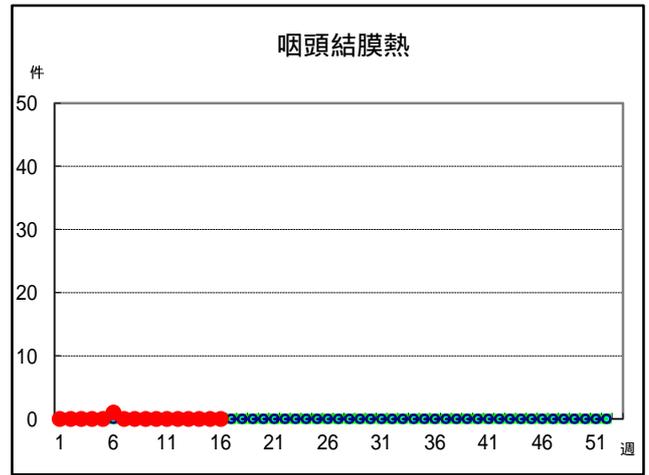
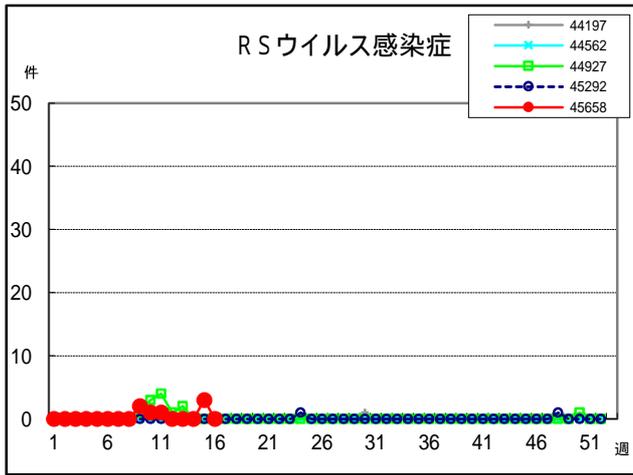
予防接種法に基づく定期予防接種が計2回(1回目:1歳～2歳未満 2回目:小学校入学前の1年間)行われていますので、対象者の方でまだ接種が済んでいない場合は早めの接種をお願いします。

令和5年度接種率 第1期(1歳児):96.4% 第2期(小学校就学前の1年間):91.7%

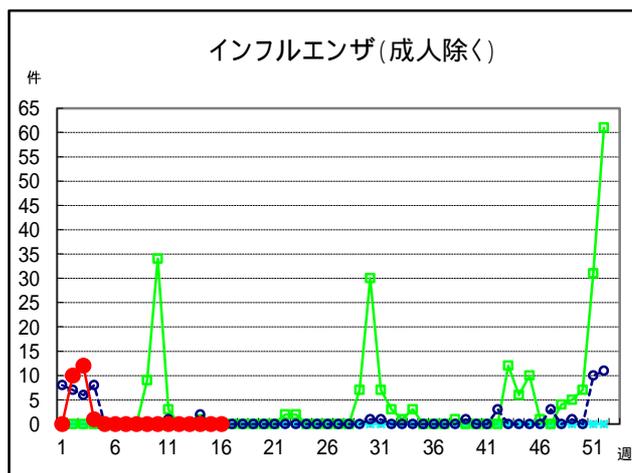
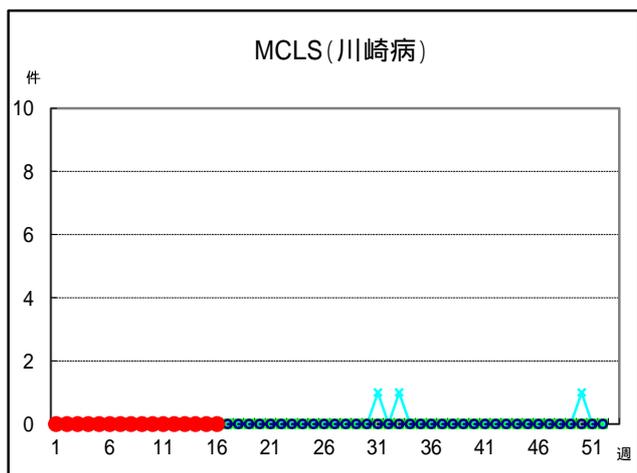
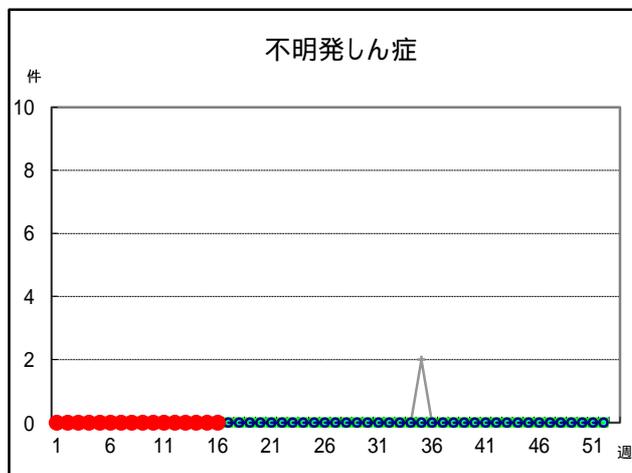
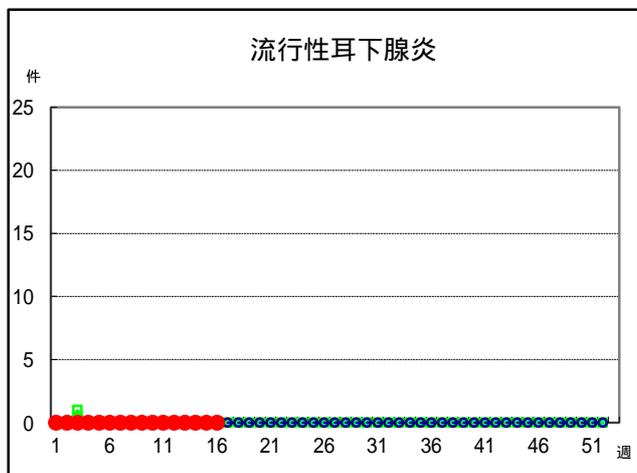
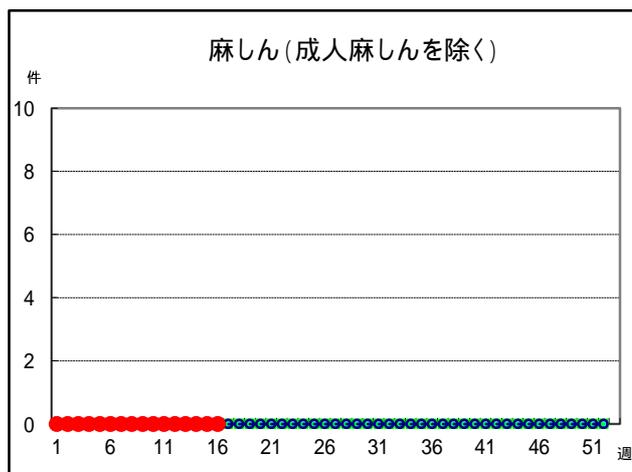
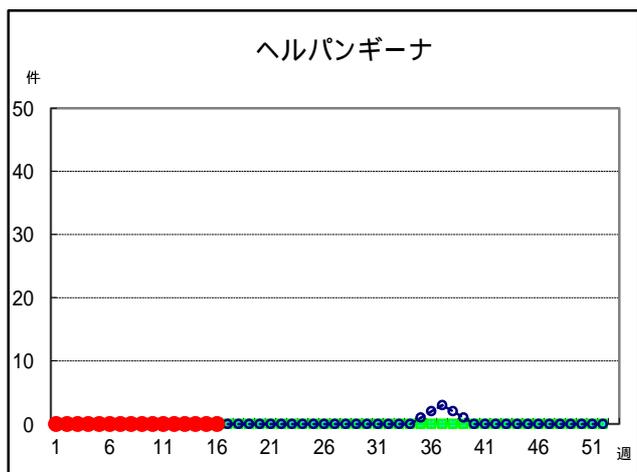
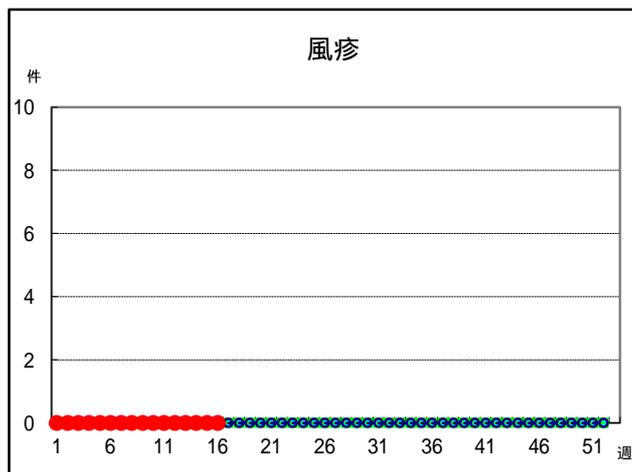
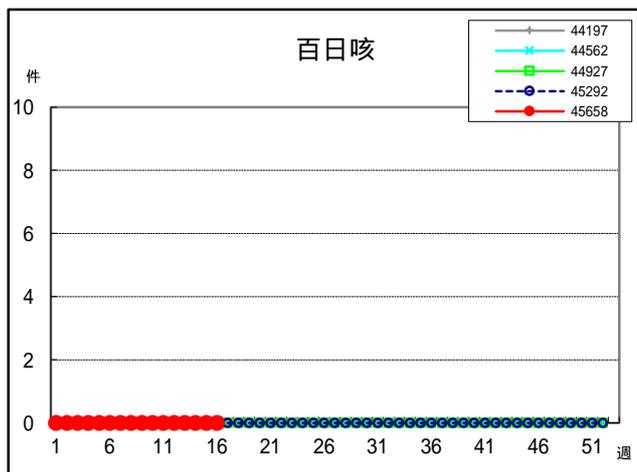
東京都感染症情報センター 麻しん情報リーフレット

https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/assets/diseases/measles/hitokuchi-joho.pdf?20250501_2

八丈出張所管内患者報告数 推移グラフ (No.1) 令和7年第18.19週



八丈出張所管内患者報告数 推移グラフ (No.2) 令和7年第18.19週



八丈出張所管内患者報告数 推移グラフ (No.3) 令和7年第18.19週

